

地球

昭和八年

七月
十二月

第貳拾卷

地球 第貳拾卷 總目錄 昭和八年七月—十二月 (アラビア數字は號數を示す)

圖 版

第一版	平壤北東方地質圖	1	松下 進	(第一號)
第二版	長野縣上伊那郡伊那富村地名分布圖	1	別枝 篤彦	(第二號)
第三版	渥美半島東部地質圖	1	吉野 益見	(第三號)
第四版	南東上空より見たる滋賀丘陵及其附近	1	森 重夫	(第四號)
第五版	滋賀丘陵地質圖	1	吉野 益見	(第四號)
第六版	伊吹山及醒ヶ井附近地質圖	1	別枝 篤彦	(第五號)
第七版	尾道市附近に於ける洪積層の分布	1	松下 進	(第六號)
	平壤北東方の層序及び地質構造	1	松下 進	
	高度と人口密度との關係の地域的考察	1	別枝 篤彦	
	備後の名勝山野峽ニ	2. 1.	吉野 益見	
	ベリリウムの自然産狀 (譯)	1	森 重夫	
	信濃南佐久郡の異剝岩	1	今井 市郎	

世界戦後の地名考	三	瀧川 規一	六一
本邦の山地の人口は果して一般に減少しつつありや	二	今村 學郎	六
村の地名	二	小松 三郎	九
人文地域(譯)	二	小牧 實繁	二二
山村語抄	三	菅谷 泰昌	二四
渥美半島の洪積層	三	大炊御門經輝	二五
地形學的方法のみで決定された所謂斷層崖の信用度	三	今村 學郎	二六
熱河雜觀	三	上治寅次郎	二九
日本の地圖	三	藤田 元春	三〇
越前丹生山地北部の第三紀層	三	竹山 俊雄	三三
琉球國先島列島を訪ねて	三	蒼 天生	三七
南アメリカのアルカリ岩の組成とその成因(譯)	三	吉澤 甫	三七
琵琶湖西方の古琵琶湖	四	池邊 展生	三九
海底に滑りある場合の比重海流を論じてエクマン氏比重海流論の			

八七六五四三

6.5.4.3.2.1

四三三二二
六八〇二四六
六七〇二三八七

誤謬に及ぶ……………4……………野滿 隆治……………二六〇

日本海の海底地形……………4……………今村 學郎……………二七〇

奥日光兔島の泥炭濕原地……………4……………宮井嘉一郎……………二七五

京都市四條通を通ずる東西斷面に就いて……………5……………西尾銚次郎……………二九

伊吹山及び醒ヶ井附近の古生層……………5……………竹山 俊雄……………三三

地方都市の商圏に關する一考察……………5……………今村 學郎……………三三

福辰山産霞石閃長石中のヘースチングス石……………5……………吉澤 甫……………三五

ケッペンの氣候型と本邦森林植物帯との垂直分布に於ける關係に就いて……………5……………今西 錦司……………三六

吉備高原竝に其の附近の洪積層とその變位……………5……………竹山 俊雄……………三六

大阪府豊能郡麻田村産舊象牙化石と其の層位……………6……………上治寅次郎……………四四

カナダのヴィクトリアと其の附近……………6……………横山 次郎……………四九

お土井の今昔……………6……………藤田 元春……………四六

青丘雜記……………1……………

アラスカ日記……………1……………

大塚地理學會論文集……………1……………

新著紹介

日本鳥瞰圖……………1……………七四

地球儀の用法	1	七五	日本の人絹業	1	七
地理學年報	2	一五五	セントローレンス河深水路開鑿	1	七
郷土地理研究	2	一五五	レイクス・ツィー・ガルフ水路	1	七
地理學批判	2	一五五	南米チリの財政	1	七
歐米大陸遊記	2	一五五	日本製電球のニューヨーク輸入	1	七
地球	2	一五五	惠山線に就いて	1	七
郷土地理教育の原理と方法	2	一五五	北滿バターの概況	1	八
本邦を中心とする石炭需給	2	一五七	廣東の水産	1	一七
日本遣歐使者記	3	一三〇	筆に用ひる毛	1	一七
支那及滿洲地誌並地圖目錄類	4	三〇九	上海の卷烟草	2	一八
一九三一年の巴里國際地理學會報告書	4	三〇	鶏卵の新しい貯藏法	2	一五
京都美術大觀(庭園篇)	4	三四	米國の對日投資及貿易額	2	一五
山形縣地誌	4	三四	蘭領印度の鑛産	2	一六
郷土研究圖譜(村落篇)	5	三六	東三省の皮毛と藥用獸類	2	一六
地理學論文集	5	三六七	イタリーの栽桑方法改善	2	一六
朝鮮の聚落(前篇)(中篇)	5	三六八	支那産生漆	3	一三〇
經濟地理學方法論	5	三六八	柳多島國際人道橋落成	3	一三一
高一地理書挿繪中心景觀的取扱	5	三六八	敦岡鐵道開通	3	一三一
地球化學	6	四七四	ブリタニカ百科辭典所載「朝鮮」記事の正誤抗議	3	一三三
ヴァンルーンの地理學(下卷)	6	四七四	丹那隧道	3	一三三
滿洲國地名便覽	6	四七四	エチオピアの鐵道	3	一三三
雜報	1	七五	紀州有田郡廣村の防波堤	3	一三四
米國の石油産額	1	七五	日本品の濠洲市場進出に對する抗議	3	一三四

大連の工業狀態	3	三三
九龍メリヤス工業	3	三三
朝鮮の凍結探鹹法	3	三三
朝鮮全羅南道の海苔	3	三三
朝鮮江原道のニツケル蠶	3	三三
享保以後の地理關係出版書目(大阪)	3	三三
第二十卷第二號「村の地名」正誤	3	三三
陸地測量部出版地圖目錄 <small>(昭和七年十月二十五日)</small>	3	三三
陸地測量部出版地圖目錄 <small>(昭和八年一月二十五日)</small>	3	三三
工業國としての印度	3	三三
廣東の生糸	3	三三
東滿塞國モンコルボレイ鐵道	3	三三
米國の棉花繅織物の發達	3	三三
廿卷三號「日本海の海底地形」中の「春風堆」の正誤	3	三三
文檢地理科豫備試驗問題	3	三三
國産桐の缺乏	3	三三
日本と土耳其	3	三三
世界各國烟草の消費	3	三三
黃河下流水害狀況	3	三三
伊太利の鐵産	3	三三
致須國の硝子工業	3	三三
波爾クヂニア港の發展	3	三三

世界棉花耕作面積と其生産額	5	三五
朝鮮米の日本化	6	四三
北鮮普天堡農事試驗場の報告	6	四三
ブラジル珈琲の輸出減退	6	四七
質疑應答		
海克線と濱黑鐵道との關係	6	四八

地球

號一第 卷十二第

行發日一月七年八和昭



神農氏因宜教田辟土種穀以振萬民

附録

第十九卷總目錄

新著紹介

世界諸島の地名考

信濃佐久郡異劍岩

備後の山野峽(一)

ベリリウムの自然産物

高度と人口密度との關係の地域的考察

平壤北東部の順序及び地質構造

圖版第一版 平壤北東方地質圖

主要目次

瀧川規一 今井市郎 森重夫 吉野益見 別技篤彦 松下進

京都市帝國大學內

地球學團

地球第二十卷第一號 (昭和八年七月)

目次

圖版 第一版 平壤北東方地質圖

平壤北東方の層序及び地質構造……………理學士 松下進…一

高度と人口密度との關係の地域的考察……………文學士 別技篤彦…二六

備後の名勝山野峽(一)……………吉野益見…三

ペリリツムの自然産狀……………理學士 森重夫譯…五二

信濃南佐久郡の異剝岩……………今井市郎…六

世界戦後の地名考(三)……………文學士 瀧川規一…六

新著紹介

○日本鳥瞰圖第四輯
○アラスカ日記
○大塚地理學會論文集第一輯

雜報

○地球儀の用法
○米國の石油産額
○日本の人絹業

○セントローレンス河深水路開鑿
○レークス・ツィ・ガルフ水路
○南米チリの財政
○日本製電球のニューヨーク輸入
○蕙山線に就いて
○北滿パターの概況

第拾九卷總目錄

地球學團規約

- 第一條 本團を地球學團といふ。
- 第二條 本團は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- 第三條 事務所を京都市白川追分町京帝國大學地質學教室内に置く。又は會員が多い地方には支部を置く事がある。
- 第四條 本團の事業は次の如くである。
 雜誌並に圖書の刊行
 講演並に講習會の開催
 實地見學の指導
- 第五條 本團會員は地球學團として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
- 第六條 本團會員になりたい人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球學團費半年分以上を發行所へ送金する事。
- 第七條 學團を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知すること。

註文規定

- 講讀者の御注文及び廣告に關する件は博多成象堂へ御申込下さい。
- 本誌の御注文代金郵税共すべて前金にて御送り下され度候。
- 郵券代用にての御注文は(割増に願上候。
- 振替貯金にての御注文は(振替大阪七麥參番、東京五貳六〇七番)博多成象堂に願上候。
- 前金切の場合に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候。
- 特別に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候。

定價

一冊	定價金五十錢	郵税金壹錢
六冊(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二冊(前金)	定價金六圓	郵税不申受

特大號定價の差額は別に申受候

廣告料 一頁 金五十圓

昭和八年六月廿五日印刷
 昭和八年七月一日發行
 刷納本 (第二十卷) 定價金五拾錢

不許複製
 禁轉載

發行所

博多成象堂
 電話特南壹壹七七番

發賣所

博多成象堂
 振替 [東京五貳六〇七番 大阪七麥參番]

- 所 捌 賣
- (東京) 東隆館 東海堂 大東館
 - (大阪) 北隆館 盛文館 參日文社
 - (神戶) 寶文館 川瀨日進堂
 - (京都) 共盛社 大瀨盛社
 - (名古屋) マガジン 川瀨書店 星野書店

- 編輯者 京帝國大學 地球學團
- 右代表者 藤田元春
- 發行所 博多久吉
- 印刷者 井下精一郎
- 印刷所 井下書籍印刷所

東京市神田區錦町三丁目拾貳番地
 大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地

CHIKYŪ THE GLOBE



Vol. XX. No. 1.

July, 1933.

Plate 1. Geological Map of the District northeast to
Heijō (Piyang), Korea.

Stratigraphy and Geological Structure of the District
northeast to Heijō (Piyang), Korea.

By S. Matsushita, *R. S.* 1

Relation of the Altitude and Density of Population in the
northwestern Slope of the Katsuragi Range.

By A. Betsuki, *B. S.* 26

Yamano Gorge, Bingo. (1)

By M. Yoshino 33

Occurrence of Beryllium.

Translated by S. Mori, *R. S.* 52

Diallagite of the Minami-Saku County, Shinano.

By I. Imai 63

Place-Names after the World-War. (3)

By K. Takikawa, *B. S.* 67

New Books—Geographical Notes.

Index to the Volume XIX.

Chikyū Gakudan

Kyōto Imperial University